

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第49週の発生動向

全数報告の感染症 (49 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 7 例。3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：つつが虫病 3 例。5 類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	30 歳代	女	肺結核	咳、痰
			60 歳代	女	無症状病原体保有者	—
			80 歳代	男	結核性胸膜炎	痰、発熱
			80 歳代	男	無症状病原体保有者	—
			80 歳代	女	肺結核	咳、発熱
		延岡	70 歳代	男	疑似症患者	咳
		小林	80 歳代	男	肺結核	咳、痰
4類	つつが虫病	都城	80 歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹
		小林	30 歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹
			60 歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹

定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,059 人 (定点当たり 27.9) で、前週比 105% と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎と水痘である。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【感染性胃腸炎】

報告数は 358 人 (9.9) で、前週比 114% と増加したが、例年同時期の定点当たり平均値* (20.9) の約 0.5 倍である。日南 (17.3)、高千穂 (17.0)、都城 (11.5) 保健所からの報告が多く、年齢別は 6 ヶ月～3 歳が全体の約半数を占めた。

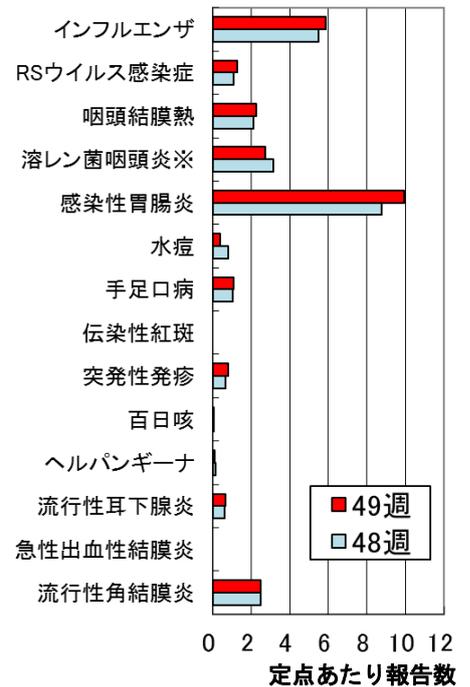
【咽頭結膜熱】

報告数は 81 人 (2.3) で、前週比 105% と増加し、例年同時期の定点当たり平均値* (1.1) の約 2.1 倍である。中央 (10.0)、小林 (7.0)、都城 (3.8) 保健所からの報告が多く、年齢別は 1～3 歳が全体の約 6 割を占めた。

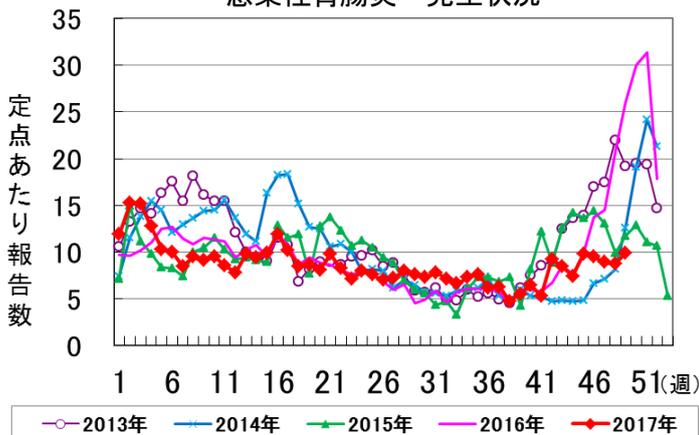
【インフルエンザ】

報告数は 347 人 (5.9) で、前週比 107% と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値* (0.52) の約 11 倍である。日南 (18.0) 保健所からの報告が多く、年齢別は 5～9 歳が全体の約 4 割を占めた。

《前週との比較》

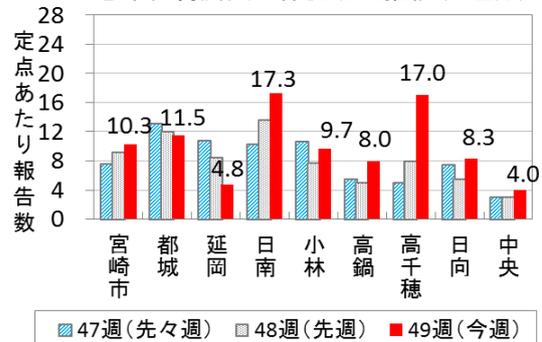


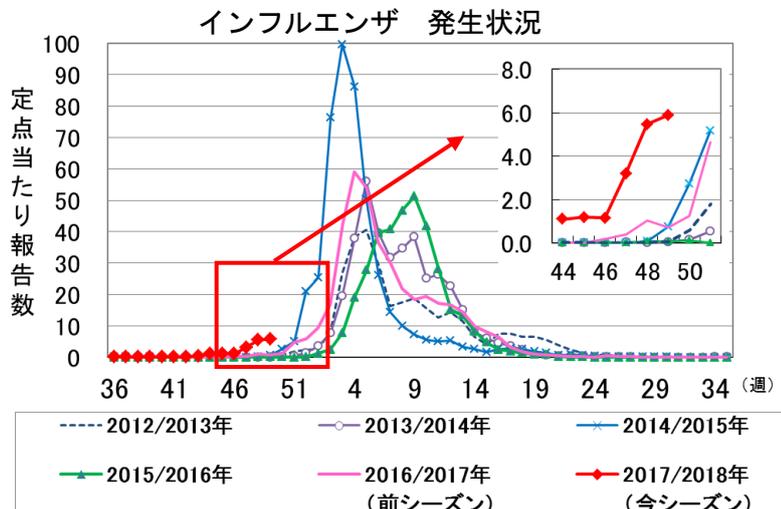
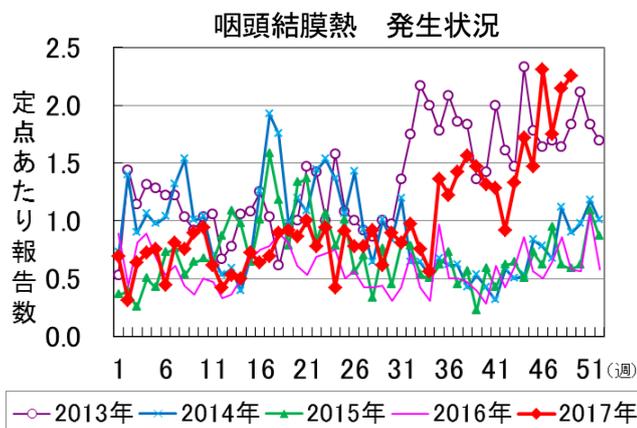
感染性胃腸炎 発生状況



* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

感染性胃腸炎 保健所別推移 (3 週分)





★基幹定点からの報告★

○無菌性髄膜炎：日南保健所から1例報告があり、1～4歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	咽頭結膜熱(3.8)
延岡	なし
日南	インフルエンザ(18.0)、流行性耳下腺炎(6.3)
小林	咽頭結膜熱(7.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	咽頭結膜熱(10.0)

＊流行警報レベル開始基準値＊

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

＊流行注意報レベル基準値＊

- ・インフルエンザ(10.0)

🇯🇵 全国 2017 年第 48 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 48 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	346 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	28 例	パラチフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	1 例	A型肝炎	5 例	エキノコックス症	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	1 例	つつが虫病	53 例	デング熱	1 例
	日本紅斑熱	2 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	23 例
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	21 例
	急性脳炎	6 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10 例	後天性免疫不全症候群	8 例
	ジアルジア症	2 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例	侵襲性肺炎球菌感染症	59 例
	水痘 (入院例)	6 例	梅毒	79 例	破傷風	3 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	風しん	2 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 122%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナである。

インフルエンザの報告数は 12,785 人(2.6)で前週比 176%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(1.1)の約 2.3 倍である。長崎県(6.2)、沖縄県(6.0)、宮崎県(5.5)からの報告が多く、年齢別では 5～9 歳が全体の約 4 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 21,980 人(6.9)で前週比 127%と増加したが、例年同時期の定点当たり平均値*(11.8)の約 0.6 倍である。愛媛県(12.6)、大分県(11.8)、埼玉県(11.6)からの報告が多く、年齢別では 1～4 歳が全体の約半数を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 9,116 人(2.9)で前週比 118%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(2.3)の約 1.3 倍である。鳥取県(6.3)、北海道(5.4)、山形県(5.3)からの報告が多く、年齢別では 4～6 歳が全体の約 4 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2017年 第49週(12月4日～12月10日)

疾病名		第48週	第49週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	323	347	96	56	48	90	13	11	2	19	12
	定点あたり	5.47	5.88	6.00	5.60	6.86	18.00	2.60	1.83	1.00	3.17	6.00
RSウイルス 感染症	報告数	39	46	19	5				3		16	3
	定点あたり	1.08	1.28	1.90	0.83	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00	4.00	3.00
咽頭結膜熱	報告数	77	81	21	23	3	1	21	2			10
	定点あたり	2.14	2.25	2.10	3.83	0.75	0.33	7.00	0.50	0.00	0.00	10.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	113	98	33	15	18	5	10		1	14	2
	定点あたり	3.14	2.72	3.30	2.50	4.50	1.67	3.33	0.00	1.00	3.50	2.00
感染性胃腸炎	報告数	315	358	103	69	19	52	29	32	17	33	4
	定点あたり	8.75	9.94	10.30	11.50	4.75	17.33	9.67	8.00	17.00	8.25	4.00
水痘	報告数	29	14	4	2	4	1	2	1			
	定点あたり	0.81	0.39	0.40	0.33	1.00	0.33	0.67	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	37	40	16	7	5	3		2	2	4	1
	定点あたり	1.03	1.11	1.60	1.17	1.25	1.00	0.00	0.50	2.00	1.00	1.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	25	29	12	4	3		3	4		2	1
	定点あたり	0.69	0.81	1.20	0.67	0.75	0.00	1.00	1.00	0.00	0.50	1.00
百日咳	報告数	1	2	1							1	
	定点あたり	0.03	0.06	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	5	4		2		2					
	定点あたり	0.14	0.11	0.00	0.33	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	23	24	2	2	1	19					
	定点あたり	0.64	0.67	0.20	0.33	0.25	6.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	報告数	15	15	12	1	2						
	定点あたり	2.50	2.50	4.00	0.50	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数		1				1					
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～49週)

2類感染症	結核	183例(7)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	17例				
4類感染症	E型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	13例	つつが虫病	22例(3)
	日本紅斑熱	8例	レジオネラ症	9例	レプトスピラ症	2例
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	5例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	11例
	急性脳炎	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例
	後天性免疫不全症候群	11例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	14例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	16例	播種性クリプトコックス症	1例
	破傷風	5例	麻しん	1例		

()内は今週届出分、再掲